

市内在住の防災士による組織設立にかかる 意見書および防災士アンケート集計結果

R2.9

総務課総合防災室



1

概 要

●対象者

47名（R2.5末日時点で市内在住の防災士資格取得者）

●集計方法

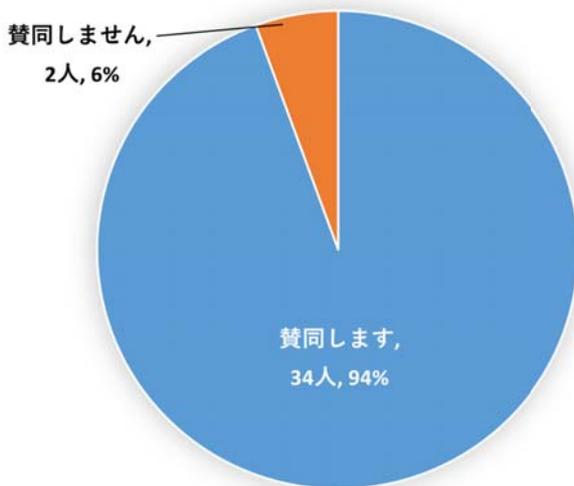
市内在住の防災士による組織設立にかかる意見書およびアンケート用紙を郵送し、返信用封筒にて回収

●回答数

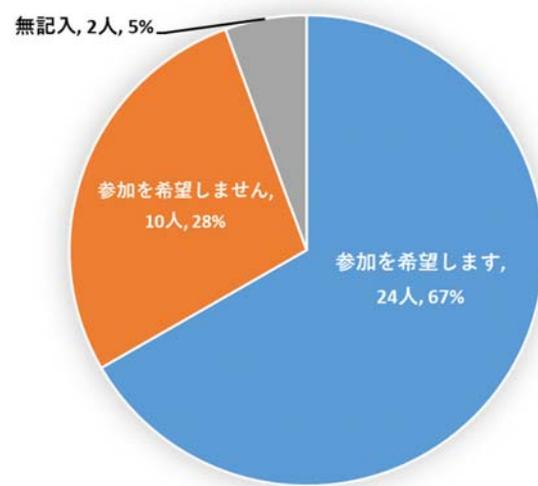
36通（回答率76.6%）

「(仮称)湯沢市防災士の会」の 設立・活動の参加について

① 設立について



② 参加について



「(仮称)湯沢市防災士の会」の「賛同します」と回答した方は、全体の94%が組織化に賛同する結果となった。一方で、「活動に参加します」の割合は67%であり、賛同はできるが参加を希望しない方が約3割いる。

「(仮称)湯沢市防災士の会」に対する主な意見(抜粋)

【会の設立について】

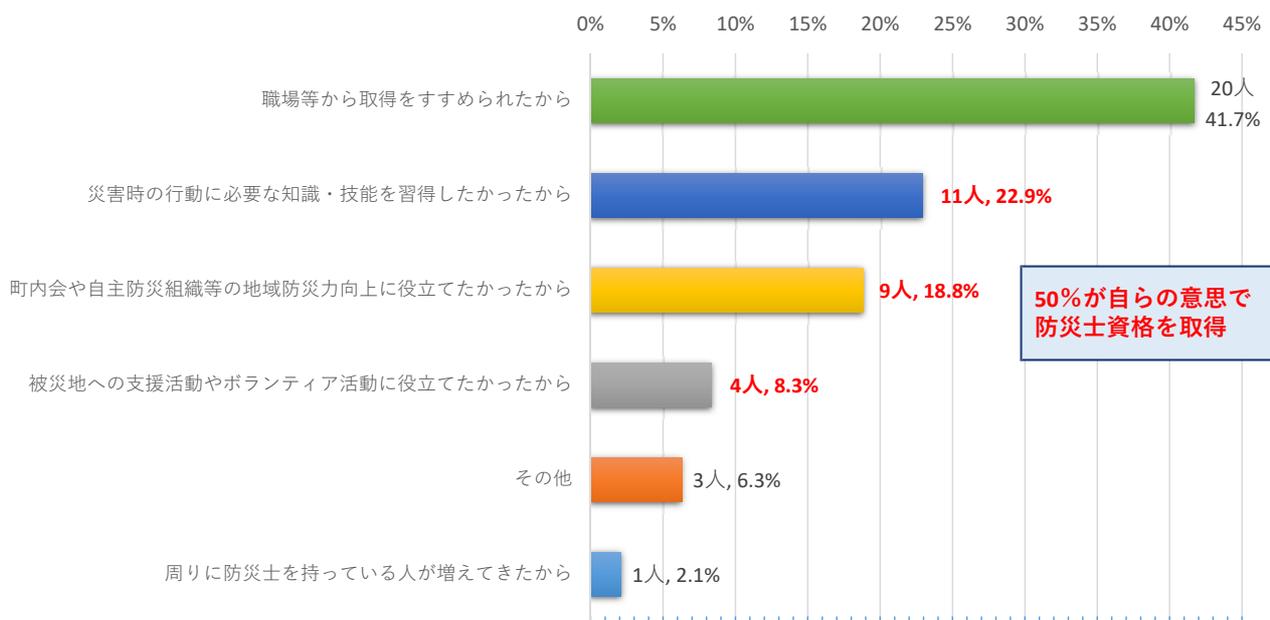
- ・ 設立の目的、活動の概要等が分かりませんので参加についてはどちらとも言えません。
- ・ 防災士が必要となってから約15年以上になっています。今さら組織を立ち上げて参加者があつまりますかね！！災害に備えてたくさんの方々が取得することを望みます。
- ・ 防災士資格を取得いたしましたが、10年以上前のことで忘れていくことが多く、名ばかりですが何か役に立てることがあれば幸いです。
- ・ 防災士の会が設立された場合、年1回でも研修会が行われればいいと思う。防災士を取得しても今まで生かせる場面や近場での研修会が無かったので組織設立はいいことだと思う。
- ・ 新たな組織を作れば、それに伴う事務作業や経費が増える。その労力や予算を地域防災力の向上のために使うべき。

「(仮称)湯沢市防災士の会」の活動の参加に対する 主な意見(抜粋)

【会の活動について】

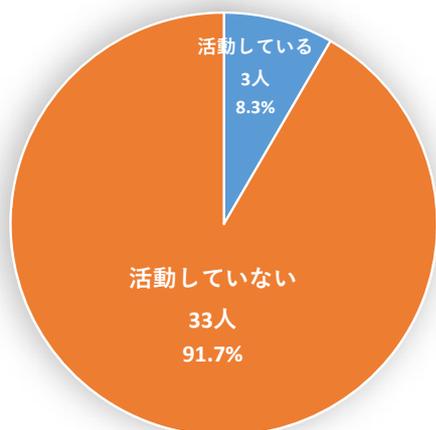
- ・ 防災士の資格は取得しているがまったく活動しないまま10数年たっており役立つとは思っていません。市民のみなさんが防災に関して意識し活動することは大変良いことだとは思っています。
- ・ 資格は持っていても年数が経過し、知識も薄れてきているし、対応方法も変更されている例もあるので、即防災士として活動するには自信と実力が伴わない。まずは研修会を含めた活動からスタートしてもらった方が取り組みやすい。
- ・ 入会費のような会費の集金はやめてほしい。
- ・ 消防職を退職し数年になり、参加には踏み切りがつかえません。会の設立は良いことと思います。
- ・ 仕事が忙しい。年齢、体力に自信がない。

設問1：防災士資格の取得のきっかけを教えてください。(複数回答可)



取得のきっかけとしては、「職場等から取得をすすめられた」理由が最も多く、中には「大学の卒業必須科目だったため防災士資格を取得した」方もいた。

設問 2：日ごろ、防災士として活動していますか。



9割を超える方が「活動していない」状況となっている。

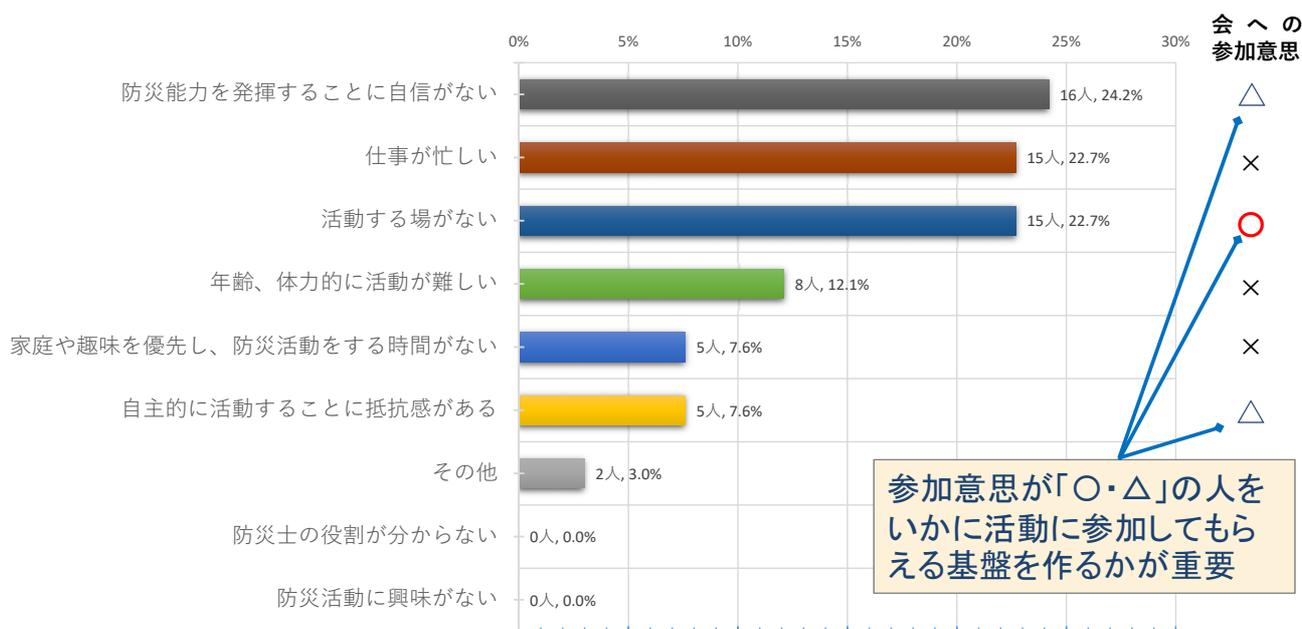
設問 3：活動内容について教えてください。（複数回答可）

回答	回答数	割合(%)	合計
地域での防災に関する広報活動や防災訓練の指導	2人	33.3	
防災関連イベントでの講演活動	1人	16.7	
職場や家庭内における災害対応マニュアルの作成	2人	33.3	
災害図上訓練や避難所運営の講習会等を地域内で開催	0人	0	
その他	1人	16.7	6

（「その他」の内訳）
東日本大震災、北海道胆振東部地震にボランティアで参加

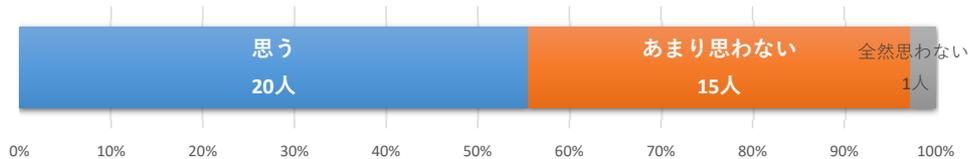
設問 4：（設問 2で「活動していない」と回答した方）

その理由を教えてください。（複数回答可）

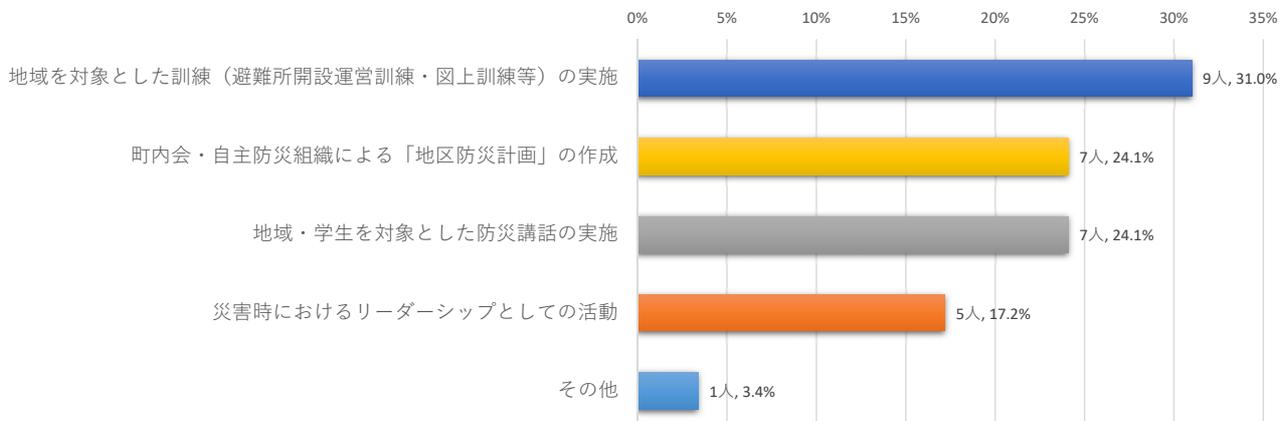


「防災能力を発揮することに自信がない」・「活動する場がない」と回答している割合が多いことから、防災士を対象とした研修会等を開催するほか各種防災イベント・地域で実施する防災訓練等に防災士が積極的に関わられるような仕組みづくりが重要であると考えます。

設問 5：防災士としての能力を地域に生かしたいと思いませんか。



設問 6：（「思う」と回答した方）どのようなことに生かしたいですか。（複数回答可）



防災士としての能力を地域に生かしたいと「思う」・「あまり思わない」に回答した数には大きな差がなく、概ね半分ずつの割合であった。

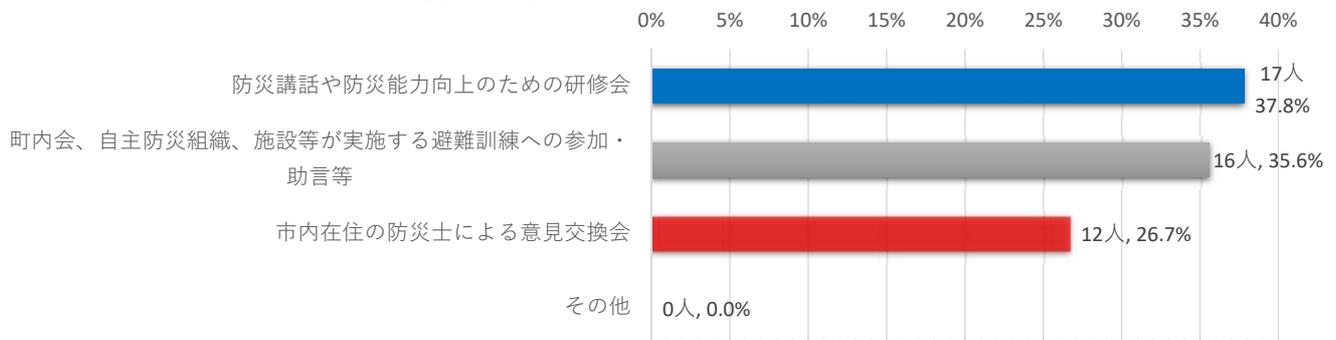
「どのようなことに生かしたいか」の設問に対しては、「地域を対象とした訓練の実施」と回答した割合が一番高い。地域防災力の向上に向け、市としても防災士が町内会や自主防災組織等の中心的役割として活動できるための環境整備を図っていく必要がある。

設問 7：防災士の組織（仮称：湯沢市防災士の会）を設立した場合、活動に参加できますか。



設問 8：（「都合が合えば全てに参加できる」「時々参加できる」と回答した方）

どのような活動に参加したいですか。（複数回答可）

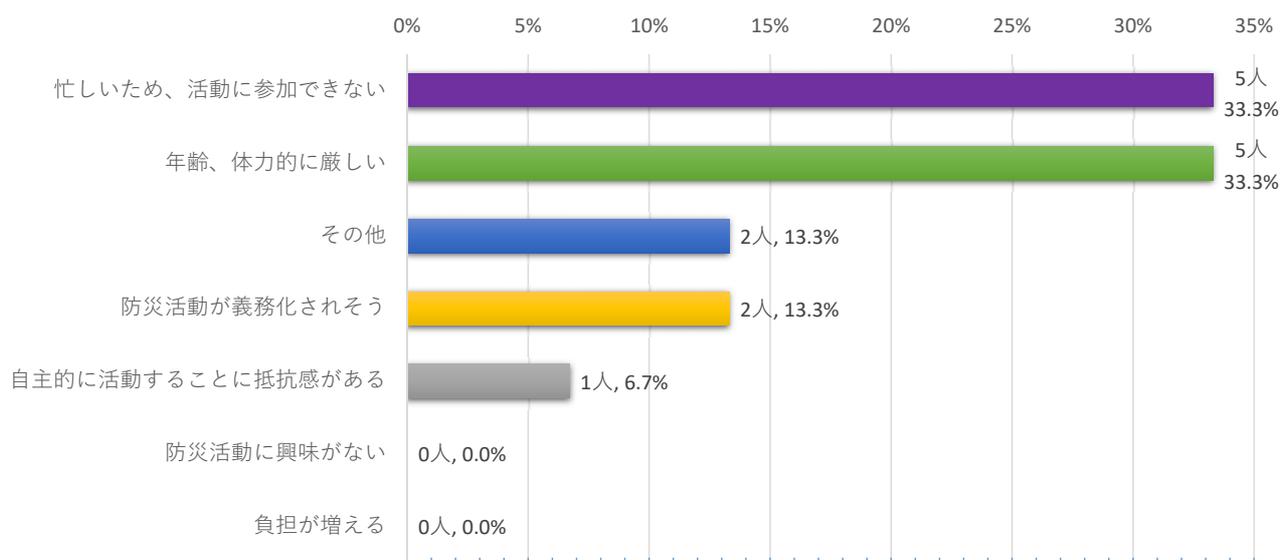


活動の参加について、「都合が合えば全てに参加できる」「時々参加できる」と回答している割合が約7割となっているが、日中仕事をしている方が多いと思われることから、事業の開催に当たっては、曜日や時間帯等を考慮する必要がある。

参加したい活動内容に対しては「防災講話や防災能力向上のための研修会」と回答した割合が一番高い。まずは、研修会等により、防災士としての基礎的な能力向上を図った上で、各種避難訓練等に参加し、能力を発揮してもらうような仕組みづくりを行っていきたいと考える。

設問9：（「ほとんど参加できない」「全く参加できない」と回答した方）

その理由を教えてください（複数回答可）



回答件数の総数は少ないが、「忙しいため活動に参加できない」・「年齢・体力的に厳しい」と回答した方が多い。

まとめ1

- ・「（仮称）湯沢市防災士の会」の設立については、ほぼ全ての方に「賛同」の回答を得られた。
- ・一方で、設立には賛同するが、活動の参加については、仕事の都合上や体力的な問題で参加できないという意見もあった。
- ・資格取得のきっかけとして、「職場等から取得をすすめられた」割合が一番多い一方で、合計で50%が自らの意思で取得している。
- ・ほぼ全ての方が、防災士としての活動を行っていないほか、資格取得後数年経過している方も多いことから、始めは、基礎的な知識の習得を中心とした、研修会や演習等の活動が望ましいと考える。

まとめ 2

- ・なお、防災士資格取得者は、日中仕事をしている割合が多いと思われることから、事業の開催に当たっては、曜日や時間帯等を考慮する。
- ・防災士として活動していない主な理由として、「防災能力を発揮することに自信がない」・「活動する場がない」との回答が多かったことから、地域の防災訓練や市の防災関連事業等に防災士が積極的に関われるような仕組みづくりを行っていくことが必要である。
- ・また、防災士資格取得者は、年齢、地域、職種等さまざまである。このため、防災士の活動にあたっては、「それぞれの立場でできることから」を基本として、まずは無理のない範囲からスタートしてもらえればと考える。